

日 付 令和5年11月10日(金)
担当所属 山梨県立ろう学校
担当者名 教頭 金丸 実奈江
連絡先 0553-22-1378

県立ろう学校における、文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演 日本ろう者劇団による 手話狂言「附子（ぶす）」の公演について

- 1 要 旨** 文化庁では、質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を作り、豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うため、「文化芸術による子供育成推進事業」を実施しています。
表現の多様性を認識し、障害への理解を深める機会として、県立ろう学校において手話狂言の公演が開催されます。
- 2 日 時** 令和5年11月21日（火）13時20分～15時10分
- 3 場 所** 山梨県立ろう学校 体育館
(山梨市大野1009)
- 4 鑑賞者
(予定)** 山梨県立ろう校 幼稚部幼児11人、小学部児童15人、
中学部及び高等部生徒9人 教職員 40人
参加希望 保護者
- 5 内 容** 手話狂言 「附子（ぶす）」

手話狂言とは、昔から継承されている狂言独特の動きや運びをそのままに、古典芸能にふさわしい手話表現の研究を重ね、古典芸能の強靭さと手話狂言の表現力をあわせもつ狂言。
「附子（ぶす）」あらすじ：用事で外出する主人が使用人である太郎冠者と次郎冠者に留守番を言いつける。主人は桶をさし出し、この中に附子（毒）があるから気をつけろと言っておいて出かける。ところが、だめだと言われると、やってみたくなるのは人情。二人はついに桶に近づき、中を覗き込む・・・。
- 6 公演者** 社会福祉法人 トット基金 日本ろう者劇団

昭和56（1981）年黒柳徹子著「窓際のトットちゃん」の著作権を基に設立された劇団。聞こえる人も聞こえない人も共に参加し、より高い水準のろう者の文化を創造し、享受することを目的にしている。
- 7 スケジュール** 13:20～13:30 はじめの会
13:30～15:00 公演（体育館）
15:00～15:10 おわりの会
- 8 その他** ・手話通訳を依頼しています。
・取材していただける場合は、担当まで事前にご連絡いただけますと幸いです。
企画内容についてご説明いたします。

※ろう学校は、聴覚障害の幼児児童生徒が在籍し、幼稚部、小学部、中学部、高等部を設置している県立の特別支援学校です。